

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

令和2年度 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団 事業報告

はじめに

令和2年度は、当法人が運営する事業のうち、事業費ベースで約8割を占める指定管理事業に利用料金制が導入された初年度であり、これまで以上に経営的視点が求められましたが、新型コロナウィルス感染症への対応にも苦慮する1年でもありました。

利用される方が安全・安心に通所していただくことを第一に、半日の入れ替え制や隔日の利用または提供サービスの縮小など、各施設の状況を考慮しながら職員が意見を出し合い、検討しました。事業運営にあたっては、利用者や保護者の皆さまのご理解とご協力は勿論のこと、職員の理解も得ながら、できる限り施設を開所したほか、児童分野では、職員による動画配信サービスにて、継続して療育を提供するなど、新たな試みも取り入れました。

業務に従事している職員は、感染リスクへの不安な気持ちもある中で、利用者への検温、マスク着用や手洗いの指導、ソーシャルディスタンスの徹底、施設内の消毒及び定期的な換気など、直接支援のほかにやらなければならないが増え、苦労は多大なものであったと思いますが、職員一人ひとりに福祉サービスを提供する者として、強い気持ちと絶え間ない努力があったからこそ、その都度この緊急事態を乗り越えてきたのだと考えます。改めて、職員へ心より感謝を申し上げます。

このように、事業運営にあたり制約のある中ではありましたが、今日的課題に対応する社会福祉法人として、経営理念のもと、安定的な事業継続を図るべく、第3期中期経営改善計画（令和元年度～令和5年度）に基づき、計画の2年度目として、指定管理事業に関する市への提言、自主事業の新たな事業展開や採算性を考慮した事業展開の検討、適切な資産管理等に取り組むとともに、委託業務の精査、既存業務の見直しや行事の見直しなど、業務の効率化を実行するとともに、障害福祉サービス等報酬に係る加算制度の有効活用、働き方改革関連法への対応など、経営改善に資する取り組みを行い、所期の成果をあげることができました。

新型コロナウィルス感染症は、まだまだ終息の一途が見えない状況ですが、当法人の福祉サービスを利用される方が、より安全・安心に利用していただけるよう、引き続き感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みながら、今後も福祉サービスの質の向上や人材の確保及び職員の雇用継続を推進してまいります。

令和3年4月

理事長 川 戸 茂

* みなし利用

「新型コロナウィルス感染症に係る障害福祉サービス等事業所の人員基準等の臨時の取り扱いについて」等の関係通知に基づき、事業所において代替サービス（在宅支援）を提供することで報酬算定可能となる。（以下、「みなし利用」という。）

しかし、茅ヶ崎市の地域支援事業である日中一時支援事業においては、みなし利用による報酬算定が対象外であった。

本部事務局事業報告

1 事業の概要

(1) 経営理念

私たちは、きわめて公益性の高い社会福祉法人として、誰もが人として尊ばれ、愛する地域で自分らしく生活できる社会づくりに貢献します。

(2) 経営方針

ア 一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

イ 信頼される社会福祉法人として、茅ヶ崎市との連携を下に地域課題の解決に取り組みます。

ウ より質の高いサービスを提供できるよう、職員の資質を向上させ、組織体制を強化します。

エ 事業の継続的な改善・見直しを実施し、活力ある法人経営と効率的な事業経営により、経営基盤を強化します。

オ 関係法令や社会規範の理解・遵守を徹底するとともに、個人情報の保護と透明性の高い法人経営を推進し、利用者・地域社会の信頼に応えます。

2 管理・運営

(1) 理事会の開催状況

ア 令和2年度第1回理事会（理事会の決議の省略）

（ア）決議があったものとみなされた日 令和2年4月6日（月）

（イ）審議案

議案第1号 評議員選任候補者の件

以上議案1件は理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員の異議がなかったことから、理事会の決議があったものとみなされた。

イ 令和2年度第2回（6月通常）理事会

（ア）日時 令和2年6月3日（水） 午後3時40分から午後5時05分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畠2階

（ウ）審議案

議案第1号 令和元年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団事業報告について

議案第2号 令和元年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団会計決算について

議案第3号 令和2年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第一次補正予算について

議案第4号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団定時評議員会の招集について

報告第1号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

報告第2号 資金運用状況について

報告第3号 社会福祉充実残額について

報告第4号 令和2年度第1回理事会（決議の省略）について

報告第5号 評議員選任・解任委員会の報告について

以上議案4件、報告5件は審議の結果、異議なく承認された。

ウ 令和2年度第3回（11月臨時）理事会

（ア）日時 令和2年11月24日（火） 午後3時50分から午後4時55分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畠2階

（ウ）審議案

報告第 1 号 神奈川県指導監査及び実地指導の結果について
報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について
報告第 3 号 利用者と職員との関りについて
議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について
議案第 2 号 評議員選任候補者の推薦について
議案第 3 号 評議員選任・解任委員会の招集について
議案第 4 号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団令和 2 年度第 2 回（12 月臨時）評議
員会の招集について

以上報告 3 件、議案 4 件は審議の結果、異議なく承認された。

エ 令和 2 年度第 4 回（3 月通常）理事会

- (ア) 日時 令和 3 年 3 月 17 日（水）午後 3 時 55 分から午後 5 時 35 分まで
(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畠 2 階
(ウ) 審議案

報告第 1 号 理事長専決処分の報告について
報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について
報告第 3 号 評議員選任・解任委員会の報告について
議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第三次補正予算について
議案第 2 号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団規程について
議案第 3 号 令和 3 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団事業計画について
議案第 4 号 令和 3 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団予算について
議案第 5 号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団令和 2 年度第 3 回（3 月）
評議員会の招集について

以上報告 3 件、議案 5 件は審議の結果、異議なく承認された。

なお、議案第 3 号及び議案第 4 号は、定款第 35 条第 1 項の定めによる、理事総数の 3 分の 2 以上の同意が得られた。

（2）評議員会の開催状況

ア 令和 2 年度第 1 回（定時）評議員会

- (ア) 日時 令和 2 年 6 月 22 日（月）午後 3 時 40 分から午後 5 時 05 分まで
(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畠 1 階
(ウ) 審議案

報告第 1 号 令和元年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団事業報告について
報告第 2 号 中期経営改善計画の取組・検討状況について
報告第 3 号 資金運用状況について
議案第 1 号 令和元年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団会計決算について
議案第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第一次補正予算について
以上報告 3 件、議案 2 件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和 2 年度第 2 回（12 月臨時）評議員会

- (ア) 日時 令和 2 年 12 月 10 日（木）午後 3 時 55 分から午後 4 時 30 分まで
(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畠 1 階
(ウ) 審議案

報告第 1 号 利用者と職員との関りについて

議案第1号 令和2年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について
以上報告1件、議案1件は審議の結果、異議なく承認された。

ウ 令和2年度第3回(3月)評議員会

(ア) 日時 令和3年3月25日(木) 午後4時00分から午後4時55分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畠1階

(ウ) 審議案

議案第1号 令和2年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第三次補正予算について

議案第2号 令和3年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団事業計画について

議案第3号 令和3年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団予算について

以上議案3件は審議の結果、異議なく承認された。

(3) 事業種別

ア 指定管理者事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定管理期間
つつじ学園	児童発達支援センター(30) 児童発達支援(20) 保育所等訪問支援	
ふれあい活動ホーム赤羽根	就労移行支援(6) 就労継続支援B型(23)	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日
ふれあい活動ホームあかしあ	生活介護(20)	
ふれあい活動ホーム第2あかしあ	就労継続支援B型(25)	
かめっこくらぶ(東海岸・松が丘)	障害児日中一時支援(10+10)	

イ 自主事業

名 称	事 業 種 别 (定員)	指定日
あっとほーむ小和田 (松が丘) (高田)	(5) 共同生活援助(5+1+1) (6)	平成24年7月1日指定 *松が丘 平成26年1月5日開所 *高田 令和2年2月1日開所
相談支援センターツみき	障害児相談支援 特定相談支援	平成24年10月1日指定
ぐっじょぶ矢畠	就労継続支援B型(20)	平成29年4月1日指定

ウ 委託事業

名 称	事 業 種 別	指定日
相談支援センターツみき	茅ヶ崎市相談事業	平成24年10月1日指定

(4) 茅ヶ崎市との協定書等について

締結日	名称
令和2年4月1日	茅ヶ崎市障害児通所施設の管理運営に関する協定書 茅ヶ崎市障害児通所施設の管理運営に関する年度協定書
令和2年4月1日	茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホームの管理運営に関する協定書 茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホームの管理運営に関する年度協定書
令和2年4月1日	委託業務契約書(相談支援センターツみき)

(5) 職員配置

	員数計	職種	令和3年3月31日配置数	
			正規職員 員数	非正規職員 員数
法人本部事務局	2		1	1
本部事務局		副理事長(業務執行理事)		1
		事務局長		(1)
		事務局長補佐	1	
		事務員	(1)	
児童				
つづじ学園	43		12	31
児童発達支援センター		管理者	1	
		児童発達支援管理責任者	1	
		保育士・児童指導員	5	9 7.46
		運転員		3 1.42
		添乗員		1 0.45
保育所等訪問支援		管理者	(1)	
		児童発達支援管理責任者	(1)	
		訪問支援員	1	
児童発達支援		管理者	(1)	
		児童発達支援管理責任者	1	
		保育士・児童指導員又は障害福祉サービス経験者	3 (1)	3 2.77
共通		管理栄養士	1	
		調理員		3 1.29
		事務員	(1)	1 0.46
		看護師		2 0.70
		嘱託医(小児科)		1 0.03
		嘱託医(精神科)		1 0.03
		理学療法士		1 0.50
		言語聴覚士		2 0.85
		公認心理師		2 1.35
		臨床心理士		1
かめっこくらぶ		作業療法士		1 0.74
		管理者	1	8
		保育士・児童指導員・指導員		9 (2) 3.69
日中一時支援		運転員		2 (1) 0.61
就労・生活				
ふれあい活動ホーム赤羽根	9		3	6
就労移行支援 就労継続支援B型		管理者	1	
		施設長	(1)	
		サービス管理責任者	(1)	
		就労支援員	1	
		生活支援員	1	
		職業指導員		6 4.50
ふれあい活動ホームあかしあ	11		2	9
生活介護		管理者	(1)	
		施設長	1	
		サービス管理責任者	1	
		生活支援員		8 3.63
		嘱託医		1 0.03
		看護師		(1)
ふれあい活動ホーム第2あかしあ	7		2	5
就労継続支援B型		管理者	1	
		施設長	(1)	
		サービス管理責任者	(1)	
		職業指導員	1	5 3.55
ぐっじょぶ矢畠	4		2	2
就労継続支援B型		管理者	(1)	
		施設長	(1)	
		サービス管理責任者	(1)	
		職業指導員	1	2 1.62
あうとほーむ小和田	13		1	12
松が丘・高田・サテライト1・2 共同生活援助		管理者	(1)	
		施設長	(1)	
		サービス管理責任者	(1)	
		生活支援員	1	
		世話人		13 (1) 4.06
相談				
相談支援センターつみき		管理者	1	1
		相談支援員	(1)	1 1.00
計	100		25	81

() は他職種または他事業所との兼務
なお、休職者等の代替職員を除く

(6) 研修、会議等

外部研修	主催	日数	延人数	備考
社会福祉法人の経営力強化 ～財務会計と労務管理～	福祉経営研究機構	1	2	オンライン
健康保険委員研修会「ココが知りたい！傷病手当金」 「気づいていますか？こころのサイン」	全国健康保険協会金川支部	1	2	オンデマンド配信
安全運転管理者法定講習	神奈川県公安委員会	2	2	
社会福祉法人の内部管理体制の実務 課題への対応	日本公認会計士協会神奈川県会	1	2	オンライン
令和2年度会計簿記研修	神奈川県社会福祉協議会	1	1	オンデマンド配信
令和元年度キャリアパス構築研修(延期分)	神奈川県社会福祉協議会	2	2	
処遇改善加算等取得促進セミナー	介護労働安定センター	1	2	オンライン
処遇改善加算等取得促進個別相談	介護労働安定センター	1	2	
社会福祉法人の経営力強化 ～法人経営と働き方改革～	福祉経営研究機構	1	2	オンライン
計		11	17	

外部会議等	主催	日数	延人数	備考
県内事業団総務担当課長会議	川崎市社会福祉事業団	1	1	オンライン
茅ヶ崎市行政改革推進委員会	茅ヶ崎市	1	2	
茅ヶ崎市環境マネジメントシステム外部監査におけるヒアリング	茅ヶ崎市	1	1	オンライン
茅ヶ崎市障害福祉課との打ち合わせ	-	3	4	オンライン、対面
指定管理施設モニタリング	茅ヶ崎市	4	-	
計		10	8	

内部会議	回数	備考
経営会議/ 施設長会議（兼計画推進委員会）	2	中期経営改善計画の進捗管理と課題解決に向けた対応の確認。 (非正規職員の処遇改善、職員給与制度の見直し、指定管理施設の今後の方向性など)
広報委員会	3	8月発行の広報紙を延期し、3月に第12号を発行した。
防災委員会	1	つづじ学園防災グループが中心となり、福祉避難所の備蓄品検討並びに福祉避難所設置訓練を実施した。
人材委員会	-	
権利擁護推進委員会	1	年2回の自己点検シートの実施
計	7	

(7) 職員への助成制度

ア 資格取得支援の助成

資格名	人数	備考
調理師	1	非常勤職員

イ インフルエンザ予防接種料の助成

人数	助成金額
21	41,300

(8) 人事業務

実施日	業務内容
4月1日	辞令交付 人事配置（異動4名、兼職解除1名） 任期付き職員発令（継続3名） 常勤嘱託職員発令（継続1名、新規1名）
4月1日	育休復職（正規1名、非常勤1名）
4月1日	部分休業承認（正規新規1名～令和8.3.31） (正規延長1名～令和6.3.31)
12月8日～ 3月29日	特別休暇（産前産後休暇）承認（正規1名） /4月6日までに変更
9月30日	任期付き職員退職発令/任期満了（1名）
12月24日	任期付き職員採用決定（1名）
2月26日	任期付き職員採用決定（2名）
3月1日	辞令交付 任期付き職員発令（新規1名）
2月23日～ 3月24日	病気休暇承認（正規1名）
3月25日～ 5月23日	病気休暇承認（正規・延長）
3月23日	常勤嘱託員任用替決定（3名）
3月31日	職員退職承認発令（3名）

3 令和2年度の重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	アクションプランに掲げたそれぞれの事業所が所管する中長期的な事業展開を実現するため、経営状況を把握し改善を図りながら進行管理を行うとともに、不採算部門については現状よりも採算性を向上させる。	概ね達成できた。 令和2年度から半期決算を法人全体で把握することにより、年間の経営状況の予測に役立たせることができた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの経営状況ではなかったが、不採算部門の事業の方向性を経営会議にて決定し、その考えを茅ヶ崎市へ伝えることができた。
(2)	働き方改革に関する法の施行にともない、労働環境を整備する。	概ね達成できた。 非常勤職員と常勤嘱託職員の就業及び給与規程を全部改正し対応することができた。
(3)	働きがいのある組織として適正な人事考課を含めキャリアパス制度を確立するとともに、職と級が一致した給与制度を導入し、職員の雇用の継続と新たな人材を確保する。	達成できなかった。 人事考課を含めたキャリアパス制度と新たな給与制度は検討に留まり、導入には至らなかった。 人材確保の取り組みとして、茅ヶ崎市主催の合同企業説明会に2回参加し、各施設の仕事内容を知っていただく機会となったが、直接採用には至らなかった。 また、家庭の事情や転職等を理由に、3名の中堅職員が離職した。

つつじ学園事業報告
(児童発達支援センター・児童発達支援・保育所等訪問支援)

1 基本方針

児童福祉法の理念に基づき、子どもたち一人ひとりを尊重し、愛する地域で自分らしく生活できるように、子どものニーズに寄り添った支援を行い、早期療育の定着を図ることにより、基本的生活能力を高め、情緒豊かな人間性を養う。

(1)児童発達支援センター(単独通園、週5日)*通園バスあり

保護者から離れて療育を積み重ねていく中で、今までにない人間関係が芽生え、様々な活動を経験することで、社会参加に向かう力を養う。また、保護者は子どもと離れ、客観的に子どもを見つめる時間を過ごし、自身の生活を考え、もう一度子どもとの関わりを捉え直す機会を持つ。

肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れる体制を整え、子どもの特性に合った環境で支援を行う。

(2)児童発達支援事業(親子通園、週2~3日)

心身の発達に遅れやつまずきがある子どもたちが、保護者と共に友達や職員といろいろな遊びや活動に取り組み、経験を積み重ねていく。また、身の回りのことを自分でできるように支援する。保護者は、子どもと一緒に療育に参加し、支援の在り方について職員と考え合う。また、保護者同士で交流を深めながら、共に考え、助け合う場となるよう保護者を支援する。

(3)保育所等訪問支援事業

保育園等に在籍している学園児、退園児を対象に、公認心理師、訪問支援員が保育所等を訪問し集団生活の適応支援を行う。また、子どもへの直接支援や発達の様子を踏まえた関わり方や提示方法について、訪問先保育所等のスタッフに対する支援方法等のアドバイスとともに、ご家族に訪問先での様子の報告等を行う。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	特別支援学級や特別支援学校に対して、つつじ学園卒園生に対する評価やつつじ学園に対する要望等を伺い、求められるニーズや役割を再認識するとともに、これまで築き上げてきた長所や強みなどを生かした運営を行う。	達成できた。 令和2年7月に特別支援学級と特別支援学校に対し、卒園生の授業中の様子、保護者の子どもに対する理解度や学校への協力の在り方、つつじ学園に対する意見や要望等についてアンケートを実施した。結果としてつつじ学園の長所や強みを再確認することができた。

(2)	<p>職員の職務知識の獲得や資質の向上を図るために月1回以上の研修を実施するとともに、職員間で何でも話し合えるような雰囲気を醸成し、職員同士の親和性が増すような環境づくりを行う。また、社会人としてのマナーやルールを順守し、パワーハラスメントや児童虐待等のコンプライアンスを徹底する。</p>	<p>概ね達成できた。</p> <p>新型コロナウィルス感染防止の観点から3密を避けるため年度当初は研修を自粛し、9月から衛生面に配慮しながら順次実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理職の職員による勤務3年目までの職員を対象とした読み合わせ研修(3回) ・心理職による研修(2回) ・理学療法士による研修(1回) ・作業療法士による研修(1回) ・言語聴覚士による研修(1回) ・嘱託医(児童精神科)による研修(1回) ・職員による自己点検シート振り返り(2回) ・職員相互での研修(2回) ・職員間でのアセスメントシート・支援計画の見直し(13回)
(3)	<p>研修等を通じて、利用料金制の導入による独立採算制の趣旨を職員一人ひとりが自覚し、経営感覚、コスト意識を向上させるとともに、他市の運営事例を参考しながら事務処理の効率化や時間外勤務の削減を図る。</p>	<p>達成できた。</p> <p>主に職員会議の場で利用料金制の趣旨を説明し、光熱水費や紙の削減など自助努力できる部分は日々意識するよう周知した。</p> <p>また、他市の運営事例をもとに記録の簡素化や行事の廃止などに努めた。</p>
(4)	<p>行政や教育機関、医療機関、他施設、保育所等との連携をさらに強化し、適切な支援につなげる。</p>	<p>達成できなかった。</p> <p>コロナ禍において、各種会議の対面開催が中止となるなど連携のさらなる強化は不十分であった。</p> <p>一方で、感染拡大防止のため、行政や教育委員会、他施設からの情報収集や情報共有に努め、連携を密にして試行錯誤のもと運営を行った。</p>
(5)	<p>毎月1回、アクション・プラン会議を開催し、市の指定管理者として求められる水準を伴った効率的・効果的な組織を構築していく。</p>	<p>達成できた。</p> <p>毎月1回程度、アクション・プラン会議を実施した。</p> <p>適正なクラス数や職員配置、定員数などを決定することができ、児童部門の今後の運営についても方向性を示すことができた。</p>

3 利用者の状況

(1) 利用状況(新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置による、みなし利用を含む。)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度実績
つ つ じ 学 園	実在籍(契約)数 a	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	36	
	開所日数 b	18	18	22	21	16	20	22	19	18	19	18	17	228	4	232	225
	延在籍数 a×b=C	576	576	704	672	512	640	704	608	576	608	576	544	7,296			8,002
	延利用数 d	254	347	663	564	450	553	610	525	509	540	516	463	5,994	29	6,023	6,930
	一日平均 d÷b	14.1	19.3	30.1	26.9	28.1	27.7	27.7	27.6	28.3	28.4	28.7	27.2	26.3			30.8
	出席率 d÷C	44.1%	60.2%	94.2%	83.9%	87.9%	86.4%	86.6%	86.3%	88.4%	88.8%	89.6%	85.1%	82.2%			86.6%
	訪問実在籍(契約)数	9	9	9	9	9	9	9	10	14	14	14	14	14			13
	延利用数	0	0	0	4	0	3	4	2	2	0	0	0	15			15
	実在籍(契約)数 a	33	33	33	33	33	33	32	32	32	32	31	31	31			41
	開所日数 b	17	18	22	21	16	20	22	19	18	19	18	16	226	1	227	227
事 業	延在籍数 C	198	264	327	339	250	320	325	287	278	289	268	231	3,376			3,675
	延利用数 d	107	220	290	249	166	211	235	186	180	195	191	160	2,390	1	2,391	2,707
	一日平均 d÷b	6.3	12.2	13.2	11.9	10.4	10.6	10.7	9.8	10.0	10.3	10.6	10.0	10.6			11.9
	出席率 d÷C	54.0%	83.3%	88.7%	73.5%	66.4%	65.9%	72.3%	64.8%	64.7%	67.5%	71.3%	69.3%	70.8%			73.7%

上記のほか、土曜療育についてのニーズ把握と実態調査を行うため、各事業において、2日ずつ半日の療育日を設け試行的に実施したが、子どもの体力面への懸念などを理由に利用は少なかった。

(センター：延べ16人、事業：延べ10人)

ア 児童発達支援センター

週5日の単独通園を通じて、保護者から離れて身辺面や社会性、コミュニケーションの発達を促すことを目的に継続的な取り組みを行った。行動のコントロールが難しい子ども、未歩行または姿勢運動に介助が必要な子どもについては、個別対応職員を配置し、子どもの様子や発達段階に合わせた支援を行った。子どもの様子や関わり方については、日々の連絡や面談を通して保護者と共有した。また、専門指導を必要とする子どもを対象に、ニーズに合わせて公認心理師、理学療法士、言語聴覚士などの専門職種の活用を積極的に実施した。

なお、コロナ禍により年度当初から約3か月の間、バス送迎の自粛、営業時間の短縮、登園入数の制限、給食の提供無し、行事についても、遠足、夏祭り、学園祭、プール（水）遊び、泥遊び、クッキング、部屋別・保護者懇談会、家族参観等を中止せざるを得ない状況であった。

イ 児童発達支援事業

母子通園の子どもを中心に発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、年少前を含めた早期から週2日～3日の療育を積み重ねるように実施することで、保護者支援、子どもの生活リズムの確立、日常の生活動作の向上、情緒面の安定を図った。また、各クラスのカリキュラムに、理学療法士、作業療法士、公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士が参加し、子どもへの直接支援や療育スタッフへの後方支援等を取り入れた。

コロナ禍における対応については、バス送迎の自粛以外は上記と同様に行った。

ウ 保育所等訪問支援

つつじ学園在園児を対象に、保育所等における集団適応支援、後方支援、情報の共有を目的に実施した。訪問後は、方針会議を開き、大きな集団での「過ごし」について、保育所等、保護者、保育所等訪問支援員、公認心理師、担当職員間で課題を共有し連携を図ることで保護者や保育所等における子どもの特性理解につながり、特性に合った支援や関わりが子どもに提供されたことで、集団生活への適応につながった。

なお、コロナ禍の影響により4～6月は訪問を自粛し、年間を通して電話での連携や情報共有等の後方支援を実施した。

(2) 年齢・性別

	児童発達支援センター			児童発達支援事業			合計
	男	女	計	男	女	計	
2歳児	0	0	0	2	1	3	3
3歳児	0	0	0	15	5	20	20
4歳児	10	7	17	4	3	7	24
5歳児	10	5	15	1	2	3	18
計	20	12	32	22	11	33	65

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
センター	0	1	0	0	0	0	1	2	2	8	8	20
事業	1	1	1	0	0	0	3	1	2	4	4	11
計	1	2	1	0	0	0	4	3	4	12	12	31

	重複							小計	未交付	合計
	身1級	身1級	身1級	身2級	身2級	身3級	身5級			
	A1	A2	B2	A1	A2	B2	B2			
センター	0	0	0	0	1	0	1	2	9	32
事業	1	1	1	1	0	1	0	5	14	33
計	1	1	1	1	1	1	1	7	23	65

(4) 診断名

	ダウン症等 症候群	自閉症 スペクトラム	その他	診断名なし	計
センター	0	6	6	20	32
事業	3	4	12	14	33
計	3	10	18	34	65

(5) 入園経路

	こども センター	総合療 育相談セ ンター	幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援事業	転居	行政 (保健所 等)	児相	家庭	相談事 業所	計
センター	0	0	0	0	13	0	1	0	0	1	15
事業	10	3	0	0		0	0	0	0	0	13
計	10	3	0	0	13	0	1	0	0	1	28

(6) 退園経路

	学校				幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援センタ-	転居	家庭	計
	支援 学校	支援 学級	通常 学級	小計						
センター	4	10	1	15	0	0		1	0	16
事業	1	0	2	3	0	1	16	2	1	23
計	5	10	3	18	0	1	16	3	1	39

4 支援内容

(1) 日課表

時刻	児童発達支援センター	時刻	児童発達支援事業
8：30	全職員打ち合わせ 日課打ち合わせ	8：30	全職員打ち合わせ 日課打ち合わせ
8：40	通園バス出発	8：50	活動準備・記録
9：00	活動準備・記録	9：15	個別指導
9：20	個別指導	10：00	登園
10：00	通園バス到着、登園 支度・自由遊び・排泄	10：20	支度・自由遊び リズム
10：50	集まり・水分補給	10：30	集まり
11：00	部屋別活動、全体活動	11：10	リラックス体操
12：00	給食	11：20	機能回復訓練等
12：30	歯みがき・着脱・自由遊び	12：00	課題遊び
13：00	課題活動	12：30	給食
	リラックスタイム	12：50	排泄・自由遊び
14：00	集まり・降園準備	13：00	集まり・降園準備
14：30	通園バス出発、降園 清掃		降園（親子グループ） 個別指導
16：00	通園バス到着 記録等		面談 清掃
16：30	担当打ち合わせ	15：00	担当打ち合わせ 記録等
17：15	職員退勤	17：15	職員退勤

(2) 専門職による指導訓練

区分	日数	延人数
理学療法士(PT)	112	224
作業療法士(OT)	96	131
言語聴覚士(ST)	66	95
言語聴覚士(ST)	44	63
公認心理師	95.5	128
公認心理師	37	46
臨床心理士	47.5	50
計	498	737

(3) 嘔吐医師による検診

区分	日数	検診延人数		
		センター	事業	計
精神科	25	55	32	87
小児科	22	31	12	43
歯科	中止			

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数
新型コロナウィルス感染症対策対応	茅ヶ崎市保健所	1	1
内部研修	主催	日数	延人数
自己点検シート振り返り（9月・3月）	つつじ学園職員	2	40
本の読み合わせ（3年目までの非常勤職員対象）	心理指導職員	3	30
心理研修（幼児期の発達について）	心理指導職員	2	45
PT研修（身体の発達について）	PT指導職員	1	30
OT研修（身体、操作の分化について）	OT指導職員	1	22
ST研修（コミュニケーションについて）	ST指導職員	1	14
発達段階に合わせた活動の選び方、展開を学ぶ	つつじ学園職員	2	43
発達障害と関わり方	嘱託医（児童精神科）	1	22
アセスメントシート、支援計画書の見直し	つつじ学園職員	13	91
計		26	181

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市障害者施設連絡会総会	茅ヶ崎市施設連絡会	1	1	書面会議
令和2年度県内公立障害者通園施設連絡協議会	県内公立障害児通園施設連絡協議会	3	3	書面会議
茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議	茅ヶ崎市自立支援協議会	2	1	書面会議
茅ヶ崎市自立支援協議会つながり支援部会	茅ヶ崎市自立支援協議会	2	15	1日書面会議
ケース会議	相談支援センターつみき	1	7	
児童発達支援入園調整会議	茅ヶ崎市こどもセンター	2	11	
計		11	38	

6 その他

(1) 給食

区分	提供数		栄養相談	
	年間	1日あたり	日数	延人数
センター	4,301	26.7	0	0
事業	1,426	8.8	1	1

	目標	提供	推定摂取
熱量 (kcal)	420	481	431
蛋白質 (g)	17	21.5	19.2

(2) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	園児	職員	その他	計	場所	想定
4月24日	0	20	0	20	1階調理室	火災避難訓練
5月22日	0	21	0	21	1階調理室	火災避難訓練
6月10日	22	23	6	51	1階調理室	地震火災避難訓練
7月14日	40	22	6	68	1階調理室	火災・水害避難訓練
8月4日	41	24	13	78		地震津波避難訓練
8月7日	37	22	10	69	1階調理室	地震火災避難訓練
9月18日	35	22	10	67	2階配膳室	地震火災避難訓練
9月29日	27	12	27	66		引き渡し訓練
10月14日	36	22	10	68	1階調理室	地震火災避難訓練
11月9日	34	21	8	63	1階調理室	地震火災避難訓練
12月9日	34	22	11	67	1階調理室	火災避難訓練
12月25日	0	22	1	23		福祉避難所設営訓練
1月19日	33	21	12	66	1階調理室	ガス爆発火災避難訓練
2月22日	39	22	13	74	1階調理室	火災避難訓練
3月15日	36	20	10	66	2階いちご部屋	火災避難訓練

(3) 年間行事

実施日		行事内容			備考
4月1～3日		自宅療育日			
4月6日	月	入園式			縮小
8月11～14日		自宅療育日			
11月・7・14・21・28日	土	センター運動会（各部屋1日ずつ）			縮小
10月19・20・21日		センター部屋別懇談会（ばなな、いちご、みかん）			
11月13日	金	センター部屋別懇談会（めろん）			
11月24日	火	事業部屋別懇談会（べんぎんB）			
11月26日	木	〃（ひよこB）			
11月27日	金	〃（ひよこA、べんぎんA）			
12月1日	火	〃（べんぎんC）			
12月2・4・5日		家族参観日（センター・事業）			
12月23・24日		クリスマス会（センター・事業）			
12月25日～1月3日		自宅療育日及び年末年始休業			
3月23日	火	卒園式			縮小
3月24～31日		自宅療育日			

この他、園外指導やつつじ学園祭、保護者支援として全体懇談会や特別支援学級等の見学会及び、専門職とのお話し会や勉強会などを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

(4) 事業所評価

児童発達支援ガイドラインに基づき、事業所自己評価及び保護者等からの事業所評価を実施し、それぞれの評価は法人ホームページに公表している。なお、センター96.6%（回収率80.6%：配布36件/回収29件）、事業92.6%（回収率69.2%：配布39件/回収27件）の満足度を得られました。

(5) 車両の運行状況

（通園バス：シビリアン）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	0	0	0	808	624	750	848	776	719	778	737	645	6,685	557.1
運行日数(日)	0	0	0	21	16	20	22	19	18	19	18	16	169	14.1
平均走行距離(km/日)	0.0	0.0	0.0	38.5	39.0	37.5	38.5	40.8	39.9	40.9	40.9	40.3		39.6

（送迎車：セレナ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	125	85	526	794	641	799	851	762	702	774	709	662	7,430	619.2
運行日数(日)	6	7	21	20	16	19	22	19	18	19	18	18	203	16.9
平均走行距離(km/日)	20.8	12.1	25.0	39.7	40.1	42.1	38.7	40.1	39.0	40.7	39.4	36.8		36.6

（タント）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	272	201	213	110	91	64	136	70	107	102	79	186	1,631	135.9
運行日数(日)	19	16	18	12	11	10	13	10	10	13	10	17	159	13.3
平均走行距離(km/日)	14.3	12.6	11.8	9.2	8.3	6.4	10.5	7.0	10.7	7.8	7.9	10.9		10.3

(6) 教育実習生の受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	0	0	0	0	2	3	0	3	0	0	6	0	14
述べ日数	0	0	0	0	24	36	0	34	0	0	69	0	163

かめっこくらぶ事業報告（日中一時支援）

1 基本方針

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び茅ヶ崎市障害児通所施設条例の定めるところにより、障害児が学校下校後や学校休業期間中に活動する場を提供し、障害児を日常的に介護している家族の一時的な休息及び障害児を持つ保護者の就労支援を行う。

学校や年齢が異なる仲間との交流を通して、子どもたちの社会性や協調性を養う。一人ひとりの子どもの特性やニーズに対応した療育的配慮を行う。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	つづじ学園の事業の見直しと運動して、日中一時支援事業のあり方を見直し、その検討結果を経営会議に諮る。	概ね達成できた。 収支バランスがとれた事業運営及び課題について、アクションプラン会議で検討した結果を、経営会議に諮り、事業の方向性を決定した。
(2)	利用調整に関わる業務量を減らし、週1回以上残業のない日をつくる。	概ね達成できた。 施設長の兼務業務の見直しや事業所内での業務分担を見直しすることで、残業が全くない月もつくることができ、月平均6時間程度に時間を削減することができた。
(3)	相談支援事業所などとの連携を強化し、支援に必要な情報を職員間で共有する。	概ね達成できた。 独自に作成したアセスメントシートを活用し、相談支援事業所を通じて得た新規利用者情報の情報を職員間で共有し、支援に役立てた。

3 利用者の状況

（1）利用状況

か め つ こ く ら ぶ	共 通	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度実績	
		a	実在籍(契約)数	52	55	54	56	55	55	56	57	58	58	58	58	58	58	58	73
つ こ く ら ぶ	東 京	b	実利用者数	24	13	22	31	34	34	36	39	36	32	34	34	369	0	236	235
		d	延利用率	18	18	22	21	16	20	22	19	20	19	18	23	236	0	236	235
く ら ぶ	松 川	d'	一日平均	42	47	85	98	84	102	113	91	94	87	87	104	1,034	0	1,034	1,162
		d'÷b	分析	2.3	2.6	3.9	4.7	5.3	5.1	5.1	4.8	4.7	4.6	4.8	4.5	4.4	4.4	4.4	5.0
く ら ぶ	計	d'	延利用率	39	28	35	70	78	101	113	108	111	90	92	102	967	0	967	1,490
		d'÷b	一日平均	2.2	1.6	1.6	3.3	4.9	5.1	5.1	5.7	5.6	4.7	5.1	4.4	4.1	4.1	4.1	6.3
く ら ぶ	計	延利用率	分析	81	75	120	168	162	203	226	199	205	177	179	206	2,001	0	2,001	2,652
		一日平均	分析	4.5	4.2	5.5	8.0	10.1	10.2	10.3	10.5	10.3	9.3	9.9	9.0	8.5	8.5	8.5	11.3

利用者のうち、重度加算者は2名、行動加算者は10名となっている。その他機能的または衝動的な行動により個別支援が特に必要な利用者は4名となっており、個別的な支援が必要な利用者は、定期的な利用者全体の約半数となっている。

養育困難ケースの2名が利用を開始したが、学校や関係機関などと隨時ケース会議を行い、必要な情報の共有と連携の強化を図った。

なお、日中一時支援を利用しなくなったことを理由に6件、中学進学などその他の理由で5件、そのうち通常級への転籍が2件による利用解除があった。

新型コロナウイルス感染症の予防策として、利用者の行き来をなくす目的で、東海岸にて合同で過ごしたが、混乱なく一年間を過ごすことができた。

(2) 障害別利用実人員

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東 知的	15	10	15	17	20	18	18	19	16	17	17	18	200
海 肢体	2	1	1	2	2	3	3	3	3	2	2	2	26
岸 小計	17	11	16	19	22	21	21	22	19	19	19	20	226
松 知的	7	2	6	12	12	13	15	17	17	13	15	14	143
が 肢体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丘 小計	7	2	6	12	12	13	15	17	17	13	15	14	143
合計	24	13	22	31	34	34	36	39	36	32	34	34	369

(3) 年齢・性別

	男	女	計
3歳児(年少)	0	0	0
4歳児(年中)	1	1	2
5歳児(年長)	8	3	11
小学1年生	8	1	9
小学2年生	11	1	12
小学3年生	3	7	10
小学4年生	9	1	10
小学5年生	4	1	5
小学6年生	2	1	3
計	46	16	62

(4) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	0	0	0	0	0	2	10	18	17	47

重複		未交付	合計
身1級	身2級		
A1	A1	4	62
1	3	4	11

4 支援内容

- (1) 安心・安全に利用していただくため、体温、排泄、食事の記録など連絡帳を通じて家庭と一緒に健康管理を行った。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、2回の検温と手洗い、車両を含めた設備の消毒等を徹底した。
- (2) 長期休暇時には公園遊びや散歩などを積極的に取り入れ、体力作りを実施した。
- (3) 季節の行事に合わせて、描画や製作を行い、自分たちで作る達成感を味わった。
- (4) 活動にあたっては、写真カードやスケジュールを分かりやすく提示し、誰もが見通しをもって能動的に参加しやすくなるよう支援した。

(5) 送迎車により、学校から事業所までの迎え、自宅までの送りを行った。

(6) 県立茅ヶ崎養護学校

延日数	延人数
中止	

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	主催	日数	延人数
P T 研修（身体の発達について）	つつじ学園	1	2
心理研修（幼児期の発達について）	つつじ学園	1	1
O T 研修（身体、操作の分化について）	つつじ学園	1	1
計		3	4

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
ケース会議	茅ヶ崎養護学校	1	1
ケース会議	つつじ学園	1	1
ケース会議	弘済学園	2	4
ケース会議	西浜小学校	1	2
ケース会議	円蔵小学校	1	1
ケース会議	小出小学校	1	2
計		7	11

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用児	職員	その他	計	場所	想定
12月7日	6	3	0	9	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月15日	5	3	0	8	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月18日	5	2	0	7	つつじ学園	福祉避難所への経路確認

(2) 年間行事

実施日	行事内容
8月11～14日	夏期休所日
11月16・17日	クリスマス製作
12月23・24日	書初め
1月7・19日	節分お面作り
2月1～3日	豆まき

この他、園外指導や買い物体験などを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

(3) 保護者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、10月に保護者アンケートを実施し（アンケート回収率77.8%：配布36件/回収28件）し、支援内容について

平均 63.4%、職員の対応について平均 73.8%の満足度を得られました。

(4) 車両の運行状況

(ハイエース)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	141	183	668	673	510	625	742	623	644	560	608	744	6,721	560.1
運行日数(日)	5	11	20	21	16	20	22	19	20	18	18	23	213	17.8
平均走行距離(km/日)	28.2	16.6	33.4	32.0	31.9	31.3	33.7	32.8	32.2	31.1	33.8	32.3	/	31.6

(ステップワゴン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	475	567	273	356	270	342	400	395	402	349	307	456	4,592	382.7
運行日数(日)	18	18	18	19	12	19	19	19	18	18	18	22	218	18.2
平均走行距離(km/日)	26.4	31.5	15.2	18.7	22.5	18.0	21.1	20.8	22.3	19.4	17.1	20.7	/	21.1

(ターセル)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	47	11	49	192	79	100	81	64	62	64	75	96	920	76.7
運行日数(日)	6	2	8	18	10	12	12	8	9	9	8	15	117	9.8
平均走行距離(km/日)	7.8	5.5	6.1	10.7	7.9	8.3	6.8	8.0	6.9	7.1	9.4	6.4	/	7.9

(アルト)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	15	13	110	159	97	135	131	81	122	119	135	110	1,227	102.3
運行日数(日)	2	2	10	18	10	16	17	12	15	13	15	15	145	12.1
平均走行距離(km/日)	7.5	6.5	11.0	8.8	9.7	8.4	7.7	6.8	8.1	9.2	9.0	7.3	/	8.5

(N-BOX)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	196	149	210	217	215	224	211	213	284	182	139	266	2,506	208.8
運行日数(日)	16	14	17	19	16	18	20	18	19	17	11	18	203	16.9
平均走行距離(km/日)	12.3	10.6	12.4	11.4	13.4	12.4	10.6	11.8	14.9	10.7	12.6	14.8	/	12.3

ふれあい活動ホーム赤羽根事業報告（就労移行・就労継続B型）

1 基本方針

(就労移行・就労継続B型)

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

利用者一人ひとりの希望や実態に則した目標を設定し、施設内・外での作業を通じて自立した社会生活と一般就労へ向けての支援を行います。

(就労継続B型)

利用者が地域で経済的にも自立して生活するために、工賃水準の引き上げを目指します。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

重点目標		達成状況と評価
(1)	就労移行 個々の特性と希望に応じた就労支援を一層充実させ、就労移行支援での一般就労者を3名以上とする。これまでに構築した関係機関との連携体制を活用しながら、個々の利用者の課題解決のために、長期的目標と短期的目標を設定し、日々きめ細やかな支援を行うことで、就労に必要なスキルを獲得してもらう。	達成できた。 就労移行から3名が一般就労した。 就労者3名中2名が面接で不採用であったが、就労支援員から企業側に本人が理解しやすい作業指示マニュアルを提案し、就労後のフォローをすることで採用に至った。
(2)	就労継続B型 清掃事業での安定した增收のため、公共施設の日常清掃の営業活動をはじめ、新たな年間契約を獲得する。	未達成。 日常清掃年間契約の打診があったが、コロナ禍で契約には至らなかった。
(3)	就労継続B型 月額平均工賃を25,000円以上とする。	未達成。 一人月額平均工賃は19,428円で前年度比8,587円の減少。コロナ禍で取引先企業からの受注量が大幅に減少した。
(4)	共通 印刷室について、刺激の多い環境が苦手な利用者のため、パーテーションを活用してパーソナルスペースを確保できる作業室として整備する。	未達成。 不要なものを処分し作業室として活用したが、市の競売による印刷機の売却には至らなかったため、パーテーションを用いたパーソナルスペースを確保することができなかつた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置による、みなし利用を含む。)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時間所	総数	前年度実績
赤羽根	実在籍(契約)数 a	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4				6
	開所日数 b	21	18	22	21	16	20	22	19	16	16	18	23	232	18	250	253
	延在籍数 a×b=C	126	108	132	126	96	120	132	114	96	96	108	92	1,346			1,213
	延利用数 d	123	108	132	126	95	116	130	111	90	90	91	76	1,288	32	1,320	1,157
	一日平均 d÷b	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9	5.8	5.9	5.8	5.6	5.6	5.1	3.3	5.6			4.6
	分析 出席率 d÷C	97.6%	100%	100%	100%	99.0%	96.7%	98.5%	97.4%	93.8%	93.8%	84.3%	82.6%	95.7%			95.4%
	実在籍(契約)数 a	29	29	29	29	29	28	29	29	29	29	29	29				32
	開所日数 b	21	18	22	21	16	20	22	19	16	16	18	23	232	22	254	256
	延在籍数 a×b=C	609	522	638	609	464	560	638	551	464	464	522	667	6,708			7,114
	延利用数 d	591	517	631	600	419	540	617	529	450	454	518	660	6,526	177	6,703	6,278
B型	一日平均 d÷b	28.1	28.7	28.7	28.6	26.2	27.0	28.0	27.8	28.1	28.4	28.8	28.7	28.1			24.5
	分析 出席率 d÷C	97.0%	99.0%	98.9%	98.5%	90.3%	96.4%	96.7%	96.0%	97.0%	97.8%	99.2%	99.0%	97.3%			88.2%

上記のほか、茅ヶ崎養護学校の在校生、相談支援事業所等からの紹介で、9名が見学、1名（5日）が実習を行った。ぐっじょぶ矢畠から1名が移籍し、一般就労により3名、個人的な事情により1名が退所した。

なお、就労者のうち1名はコロナ禍による就労日の減少により、4月からB型に移籍し併用利用することになった。

(2) 年齢・性別

性別＼年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	7	8	6	3	1	1	1	27
女	2	1	4	1	1	0	0	9
計	9	9	10	4	2	1	1	36

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	6
就労継続B	4	3	1	0	1	0	9	0	1	12	1	14
計	4	3	1	0	1	0	9	0	2	15	3	20

	精神障害				重複				合計
	1級	2級	3級	小計	身1級	精2級	身4級	小計	
	A1	B2	B2		A1	B2	B2		
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	6
就労継続B	0	4	0	4	1	1	1	3	30
計	0	4	0	4	1	1	1	3	36

(4) 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	未取得	計
就労移行	0	0	0	0	0	0	6	6
就労継続B	0	4	1	2	0	0	23	30
計	0	4	1	2	0	0	29	36

(5) 居住地域

	市内	市外	計
就労移行	6	0	6
就労継続B	29	1	30
計	35	1	36

(6) 居住形態

	家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
就労移行	6	0	0	6
就労継続B	23	6	1	30
計	29	6	1	36

(7) 生活支援の概要

精神的な理由で作業に集中できない利用者に対し、定期的な面談を行い安定に向けた支援を行った。あっとほーむと連携し、1名がグループホームの利用に繋がった。

コロナ対策として、生活全般での手洗いや外出に関する助言、事業所内での黙食の支援を徹底した。1回目の緊急事態宣言時には事業所内の人の密度を下げるため、半日の入替制による通所とした。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

区分	性別	年齢	就労日	企業名	業務内容
就労移行	男	35	令和2年9月1日	(株)佐賀鉄工所	事務補助
就労移行	男	19	令和2年11月28日	マックスパリュ東海（株）	清掃、リサイクル
就労移行	女	27	令和3年2月15日	(株)ニチイ学館	清掃

イ 職場実習

区分	実習者数	就労者数	企業名	業務内容
就労移行	1	1	(株)佐賀鉄工所	事務補助
就労移行	1	1	マックスパリュ東海（株）	清掃、リサイクル
就労移行	1	1	(株)ニチイ学館	清掃
計	3	3		

ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	延べ回数	延べ人数
(有)モザミトーラルビューティー、茅ヶ崎市など	清掃、除草	201	631

エ 就労支援の概要

コロナ禍であったが、チーム支援会議での求人情報提供から2名、就労援助センターからの求人情報提供から1名の計3名が就労できた。就労後の定着支援では、状況に応じた頻度で巡回（年間23回）を行い、当事者と企業の双方に対して課題の解決に向けた支援を行った。

また、グループワークを（年間 17 回、延べ 100 名）行い、求人情報の提供、社会人として必要なマナーの学習、働く動機の確認、履歴書の書き方など、学びの機会を設けた。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度＼作業種別	軽作業	清掃	印刷	弁当販売	計
平成28年度	7,128,523	3,572,636	8,543,935	3,723,242	22,968,336
平成29年度	7,950,967	3,492,583	7,182,602	2,915,250	21,541,402
平成30年度	8,842,264	2,583,715	1,935,290	149,612	13,510,881
令和元年度	8,691,591	3,476,371	261,200		12,429,162
令和2年度	6,294,487	3,307,066			9,601,553
令和2年度(目標)	10,180,000	4,571,000			14,751,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労移行	700,280	10,942
就労継続B	6,683,398	19,428
計	7,383,678	

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コバシ(株)、フジケース(株)、熊澤酒造(株)、(株)大村紙業など
清掃	(有)モザミトータルビューティー、茅ヶ崎市、つつじ学園など

エ 作業支援と工賃の概要

令和 2 年度の売上げは、コロナ禍で全般的に受注量は減少し 9,601,553 円となり、前年度比 77.2%、金額にして 2,827,609 円の減少となった。減少の主なものとして、菓子の箱折り作業と靴の中敷き注入作業が約 2,000,000 円減少した。

月額平均工賃は 19,428 円で、前年度比 69.3% となり、金額にして 8,587 円減少した。受注量は減少したが、現在の利用者の状況に適した作業量となっている。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	主催	日数	延人数
利用者の障害特性を知る（支援マニュアル作成）	赤羽根	8	67
個別支援計画作成会議	赤羽根	8	38
計		16	105

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
藤沢公共職業安定所障害者 チーム支援連絡協議会	藤沢公共職業安定所	6	6
茅ヶ崎市自立支援協議会就労支援部会	茅ヶ崎市	1	1
就労支援部会コア会議	茅ヶ崎市	3	3
計		10	10

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
5月				0	中止
9月				0	中止

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月30日	30	8	0	38	近隣民家	地震後火災発生(通報・避難・消火訓練)
3月31日	31	8	0	39	近隣民家	地震後火災発生(通報・避難・消火訓練)

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、8月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率91.4%：配布35件/回収32件）し、支援計画の内容について平均76.6%、職員の対応について平均75.0%の満足度を得られました。

(3) 年間行事

実施日	行事内容			備考
6月	事業団ふれあい合同スポーツ大会			中止
7月	利用者レクリエーション			中止
10月	香川公民館まつり			中止
12月	納め会			中止

(4) 車両の運行状況

(キャラバン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	107	25	179	265	172	119	181	168	99	78	146	153	1,692	141.0
運行日数(日)	8	4	14	19	15	12	17	17	13	8	16	13	156	13.0
平均走行距離(km/日)	13.4	6.3	12.8	13.9	11.5	9.9	10.6	9.9	7.6	9.8	9.1	11.8		10.8

(アトラス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	388	355	285	337	261	202	273	338	274	211	237	208	3,369	280.8
運行日数(日)	19	14	22	19	15	18	21	16	16	16	15	17	208	17.3
平均走行距離(km/日)	20.4	25.4	13.0	17.7	17.4	11.2	13.0	21.1	17.1	13.2	15.8	12.2		16.2

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	83	29	68	192	187	173	64	86	128	145	101	139	1,395	116.3
運行日数(日)	6	3	8	18	14	10	7	12	13	16	8	11	126	10.5
平均走行距離(km/日)	13.8	9.7	8.5	10.7	13.4	17.3	9.1	7.2	9.8	9.1	12.6	12.6		11.1

(エブリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	107	40	184	167	119	151	174	145	117	138	151	180	1,673	139.4
運行日数(日)	13	4	23	21	16	20	23	19	14	17	19	23	212	17.7
平均走行距離(km/日)	8.2	10.0	8.0	8.0	7.4	7.6	7.6	7.6	8.4	8.1	7.9	7.8		7.9

(ダイナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	320	364	437	421	355	353	470	402	290	362	317	357	4,448	370.7
運行日数(日)	18	13	20	21	14	16	21	19	15	16	16	17	206	17.2
平均走行距離(km/日)	17.8	28.0	21.9	20.0	25.4	22.1	22.4	21.2	19.3	22.6	19.8	21.0		21.6

ふれあい活動ホームあかしあ事業報告（生活介護）

1 基本方針

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性に応じた支援計画を作成し、利用者が「昨日は楽しかった。今日も楽しい、明日も楽しい一日でありたい。」と思えるような支援を行う。

(1) 利用者はかけがえのない人であるという認識のもと、利用者の自己実現のために利用者の思いや希望を丁寧に読み取り、笑顔で優しく支援を行う。

(2) 利用者は社会の対等の構成者であるという認識のもと、利用者が地域との繋がりを深め、地域でも自分らしい生活を送れるように、利用者の地域行事への積極的参加の支援を行う。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	木工や機織りのほかに、軽作業を設定し、一人ひとりに合った活動を選択できるようにする。	達成できた。 軽作業を定期的に取り入れることで、繰り返し、同じ活動で安心する利用者にとって、やりがいのある活動となった。また、アイロンビーズを取り入れ、模倣する力、創造力など、利用者が能動的に取り組む姿が見られた。その他、コロナ禍で室内での密を避けるため、小集団での散歩を行った。電車を見たり、図書館へ行くなど、新しい体験ができた。
(2)	利用者の障害特性に配慮し、パーテーションの設置や作業室を分けたり、状況に応じた職員配置をするなど、刺激にならないような環境を整備する。	達成できた。 パーテーションの設置や座席の設定、活動ごとに作業室を分けるなど、職員が全体を把握しやすく環境設定することで、視覚・聴覚刺激が軽減され、活動に集中して取り組めるようになった。
(3)	体験利用を積極的に受け入れ、あかしあの魅力を発信し、定員20名を確保する。	概ね達成できた。 体験利用4名受入れ、茅ヶ崎養護学校のほか、白浜養護学校、藤沢養護学校からの見学も受け入れ、10月より1名増、在籍19名となった。また、実習を重ね、令和3年4月より、茅ヶ崎養護学校卒1名を受け入れることとなった。
(4)	分場を開設するため、5月までに利用者・保護者のニーズを把握し、9月までに具体的な事業内容を検討し、最適な物件を調査する。	達成できなかった。 利用者・保護者へのアンケートを実施し、現状のあかしあで満足している声が多かった。 分場ではなく、新規の生活介護事業所として、検討することとなり、具体的な事業内容、物件を調査するまでに至らなかった。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置による、みなし利用を含む。)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時間所	総数	前年度実績
あ 生 か し あ 介 護	実在籍(契約)数 a	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	236	3	239	19
	開所日数 b	21	18	22	21	16	20	22	19	20	16	18	23	236	3	239	249
	延在籍数 a × b = C	378	324	396	378	288	360	418	361	380	304	342	437	4,366			4,569
	延利用数 d	347	315	367	354	271	330	366	308	326	288	324	403	3,999	23	4,022	4,098
	一日平均 d ÷ b	16.5	17.5	16.7	16.9	16.9	16.5	16.6	16.2	16.3	18.0	18.0	17.5	16.9			16.5
	分析 出席率 d ÷ C	91.8%	97.2%	92.7%	93.7%	94.1%	91.7%	87.6%	85.3%	85.8%	94.7%	94.7%	92.2%	91.6%			89.7%

上記のほか、3名の見学者と4名(延べ日数28日)の実習を受け入れ、その内1名が10月より利用を開始した。なお、4月よりさらに1名利用を開始することとなった。

(2) 年齢・性別

年齢・性別

性別＼年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	4	2	2	1	1	0	0	10
女	2	1	5	0	1	0	0	9
計	6	3	7	1	2	0	0	19

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	4	7	4	0	15

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級	身2級	小計	
0	0	0	0	1	2	3	
							19

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	1	2	8	4	4	0	19

(5) 居住地域

市内	市外	計
19	0	19

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
14	5	0	19

(7) 生活支援の概要

障害の重度化、高齢化により、生活面での介助や個別対応が増えている。

限られた空間での刺激を減らすため、パーテーションの設置や活動室の分散、送迎車の座席配置など、できる限りの環境設定を行った。

機織り、木工作業以外にアイロンビーズを用いた制作や散歩など、利用者が自発的に取り組める活動を設定した。

コロナ対策として、生活全般での手洗いやうがい、外出に関する助言や事業所内の黙食の支援を徹底した。1回目の緊急事態宣言時には事業所内の人との密度を下げるため、利用者を2グループに分けて1日おきの通所とした。

4 事業内容

(1) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度＼作業種別	自主製品	軽作業	計
平成28年度	1,344,158	17,020	1,361,178
平成29年度	1,314,618	0	1,314,618
平成30年度	1,199,003	2,990	1,201,993
令和元年度	1,109,906	17,691	1,127,597
令和2年度	385,690	57,320	443,010
令和2年度(目標)	1,150,000	50,000	1,200,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
387,000	1,697

ウ 作業支援と工賃の概要

令和2年度に工賃支給基準の見直しを行い、1日の出席ごとに100円を支給することとした。

新型コロナウイルスの影響で、地域のお祭りなどが全て中止となり、自主製品の売り上げが大幅に減少した。多くの方に作品を見ていただけるよう、フリマサイトに出品を試みたが、1点のみの販売で効果が得られなかった。

なお、軽作業を定期的に受注し、シール貼り、枠づくりなどを提供することで、変化が苦手な利用者にとっては、同じ工程に安心して取り組む様子がみられた。

5 研修・会議等

(1) 研修・会議

会議	主催	日数	延人数
職員会議（内部研修含む。）	あかしあ	8	84
ケース会議	とれいん	3	12
ケース会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	2	8
計		13	104

(2) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
4月				0	中止
10月				0	中止
3月				0	中止

(3) あかしあネットワーク会議

実施日	参加人数					備考
	地域	団体	行政	事業団	計	
7月						中止

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
11月26日	17	7	1	25	あかしあ玄関前	地震(避難訓練)
3月24日	17	7	1	25	厨房	火災(消火・避難訓練)

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、3月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率100%：配布19件/回収19件）し、支援計画の内容について73.7%、職員の対応について平均71.9%の満足度を得られました。

(2) 年間行事

実施日		行事内容			備考
4月		利用者個別面談・保護者面談			中止
		市民祭り・花見			中止
5月		防災避難訓練			中止
		歩き遠足			11月に延期
6月		事業団スポーツ大会			中止
		防犯避難訓練			中止
		茅作連ふれあい作品展			中止
7月21日	火	夏祭り			臨時的に実施
7月30日	木	すいか割り			
9月		あかしあまつり			中止
		利用者個別面談、保護者面談			
		茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会			中止
10月		防災避難訓練			11月に延期
		テラスモール散策・エアロビ			中止
		松浪地区福祉ふれあいまつり			中止
		赤い羽根共同募金街頭キャンペーン			中止
11月		引き渡し訓練			中止
		茅作連交流会・市民祭り			中止
11月13日	金	歩き遠足（辻堂海浜公園）			
12月		茅作連ふれあい作品展			中止
		障害者週間街頭キャンペーン			中止
12月28日	月	お楽しみ会・大掃除			

1月	新年交歓会・エアロビ・防災避難訓練	中止
2月	ボーリング大会	中止
	保護者懇談会	中止
3月	利用者個別面談・保護者面談	
	公共交通機関遠足	中止
	小和田公民館まつり	中止
	茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会	中止

(3) 車両の運行状況

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	580	405	709	710	565	681	748	700	749	567	697	829	7,940	661.7
運行日数(日)	20	17	22	21	16	20	22	20	20	15	19	23	235	19.6
平均走行距離(km/日)	29.0	23.8	32.2	33.8	35.3	34.1	34.0	35.0	37.5	37.8	36.7	36.0		33.8

ふれあい活動ホーム第2あかしあ事業報告（就労継続B型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援する。利用者の個性や障害特性を尊重した、心のかよいあうサービスを基本とした施設運営に努めていく。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

重点目標		達成状況と評価
(1)	月額平均工賃を10,000円以上とする。	<p>達成できた。</p> <p>月額平均工賃は10,767円となり、前年度の10,707円を上回った。新規の取引先を1件増やしたもの、ポスティング作業が取引先の都合で休刊になったことや、新型コロナウイルスの影響で既存の取引先からの受注額が減少したり、出店を予定していた祭り2件が中止になるなど、売上げは前年度比89.4%にとどまったが、月額平均工賃計算の対象となる工賃支給対象者数が減少したことにより、目標達成となった。</p>
(2)	ふれあい活動ホーム赤羽根と連携し、作業の開拓と確保を効率的に行う。	<p>達成できた。</p> <p>ふれあい活動ホーム赤羽根からの受注額は70,446円となり、前年度の54,274円を上回った。適宜作業状況を共有しながら、赤羽根から効率的に作業を受注した。</p>
(3)	生活支援が必要な利用者をはじめ、個別の配慮が必要な利用者に対し、効果的な支援ができるよう、職員会議等を通して、職員間で共通認識を持つ。	<p>達成できた。</p> <p>場面の切り替えが苦手で欠席が多かった利用者に対して、イラストカードを用いたり、本人が納得いくまで待つ対応を職員間で確実に共有したことで、本人のストレスを減らし、出席日数を増やすことができた。</p>

3 利用者の状況

（1）利用状況(新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置による、みなし利用を含む。)

第 2 あ か し あ	継 続 延 在 籍 数 a × b=C	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度実績
		実在籍(契約)数 a	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	236	3	239	30
か し あ	開所日数 b	21	18	22	21	16	20	22	19	20	16	18	23	236	3	239	245	
		525	450	550	525	416	520	572	494	520	416	468	598	6,054	40	5,142	6,664	
し あ	延利用数 d	459	418	454	436	354	448	472	401	411	332	398	519	5,102	40	5,399	22.0	
		一日平均 $d \div b$	21.9	23.2	20.6	20.8	22.1	22.4	21.5	21.1	20.6	20.8	22.1	22.6	21.6	40	5,399	81.0%
分析		出席率 $d \div C$	87.4%	92.9%	82.5%	83.0%	85.1%	86.2%	82.5%	81.2%	79.0%	79.8%	85.0%	86.8%	84.3%	40	5,399	81.0%

上記のほか、茅ヶ崎養護学校の在校生、相談支援事業所からの紹介等で、10名が見学、5名（延べ日数42日）が実習を行い、2名が利用につながった。年度途中に個人的な事情により1名が退所した。

(2) 年齢・性別

性別＼年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	6	2	4	6	2	1	0	21
女	0	0	2	2	1	1	0	6
計	6	2	6	8	3	2	0	27

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	1	5	9	6	21

精神障害				重複				合計
1級	2級	3級	小計	身1級	精2級	身4級	小計	
0	2	0	2	1	1	1	3	
							27	

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
1	1	6	2	1	0	16	27

(5) 居住地域

市内	市外	計
26	1	27

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
19	6	2	27

(7) 生活支援の概要

精神的な理由により長期欠席していた利用者に対して、面談、電話、連絡帳により安定に向けた支援をきめ細やかに行なったことにより利用を再開することができた。

体重が増加傾向にある利用者や、家族の支援が不十分な利用者に対して、食生活の助言や医療受診を勧めるなど、利用者個々の状況に応じた支援を行なった。

コロナ対策として、生活全般での手洗いや外出に関する助言、事業所内での黙食の支援を徹底した。1回目の緊急事態宣言時には事業所内の人の密度を下げるため、利用者を2グループに分けて1日おきの通所とした。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

性別	年齢	就労日	企業名	業務内容
男	32	令和2年4月1日	茅ヶ崎市役所	事務補助

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

なし

エ 就労支援の概要

令和元年度中に茅ヶ崎市役所から内定が出ていた利用者1名が、令和2年4月1日付けで採用となった。

令和元年度からの継続で、訓練生としてカフェドットコム2名、カフェサザンポ1名が利用し、身だしなみへの意識が高まるなどの変化があった。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度＼作業種別	軽作業	清掃	計
平成28年度	3,592,728	158,864	3,751,592
平成29年度	3,805,276	158,865	3,964,141
平成30年度	2,954,611	236,317	3,190,928
令和元年度	3,483,085	235,333	3,718,418
令和2年度	3,075,483	235,331	3,310,814
令和2年度(目標)	4,100,000	240,000	4,340,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
3,114,212	10,767

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コンポー(株)、住友電工オプティフロンティア(株)、(株)ワンワールド、熊澤酒造(株)、高野商店、やまと紙器(株)、湘南きのこ、ふれあい活動ホーム赤羽根
清掃	ふれあい活動ホーム第2あかしあ

エ 作業支援と工賃の概要

令和2年度の売上げは3,310,814円で、前年度比89.4%となり、金額にして407,604円減少した。一方、利用者数が前年度よりも減少したこと、平均工賃は60円増加した。売上げの減少は、新型コロナウィルス感染症の影響で6～8月の受注量が前年度比70.6%にまで落ち込んだことによるものである。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
社会福祉基礎研修 －福祉の仕事学び直し研修－	神奈川県社会福祉協議会	1	1	
令和2年度神奈川県障害者虐待防止・ 権利擁護研修	神奈川県障害者自立生活支援 センター	2	2	オンデマンド 配信
ひきこもりの理解と援助的な関わりの 基本	茅ヶ崎市社会福祉協議会	1	1	オンライン
計		4	4	

内部研修	主催	日数	延人数
福祉の仕事学び直し研修の伝達会	第2あかしあ	1	7
虐待防止・権利擁護研修	第2あかしあ	1	7
計		2	14

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	4	4	3回は書面会議

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
4月				0	中止
10月				0	中止

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月23日	21	7	0	28	給湯室	地震後火災発生(通報・避難・消火訓練)
3月16日	23	5	0	28	給湯室	地震後火災発生(通報・避難・消火訓練)

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、8月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率96.0%：配布25件/回収24件）し、支援計画の内容について平均87.5%、職員の対応について平均90.3%の満足度を得られました。

(3) 年間行事

実施日		行事内容	備考
6月		事業団ふれあい合同スポーツ大会	中止
6月		十間坂地区防災訓練	中止
7月		施設公開日	中止
7~8月		保護者面談	実施
8月		十間坂納涼祭	中止
10月		茅ヶ崎地区防災訓練	中止
11月3日	火	市民ふれあいまつり	中止
1月13日	水	新年お楽しみ会	飲食なしで実施
1月		日帰りレクリエーション	中止
1~2月		保護者面談	中止

(4) 車両の運行状況

(エブリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	52	77	69	127	31	85	51	103	140	60	52	116	963	80.3
運行日数(日)	5	9	8	10	4	9	6	11	13	5	5	12	97	8.1
平均走行距離(km/日)	10.4	8.6	8.6	12.7	7.8	9.4	8.5	9.4	10.8	12.0	10.4	9.7		9.9

(プロボックス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	4	15	15	10	37	13	35	2	24	9	1		165	15.0
運行日数(日)	2	2	3	2	5	2	4	1	2	2	1		26	2.4
平均走行距離(km/日)	2.0	7.5	5.0	5.0	7.4	6.5	8.8	2.0	12.0	4.5	1.0			6.3

*老朽化及び使用頻度の減少により令和3年2月に廃車

あっとほーむ小和田事業報告（共同生活援助）

1 基本方針

利用者が地域において共同して、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護並びに相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

重点目標		達成状況と評価
(1)	生活支援員と世話人の業務分担を見直し、バックアップ事業所のあかしあ職員と協力しながら、利用者の暮らしを支援する。	達成できた。 定期的に世話人と利用者の面談を実施し、職員間の連携をとることで、利用者と職員との適切な関わりをもつことができた。あかしあ職員がバックアップすることで、重度の方の体験利用に繋がり具体的に段差の解消や手すりの設置や、介助の方法など検討することができた。また、ボランティアで発達障害のある方に助言する整理収納アドバイザーに利用者の部屋を見ていただき、片付けのアドバイスをもらうことができた。
(2)	現場の困りごとなど、適宜共有し、利用者の様々な特性を理解するため、世話人会議での内部研修を年4回実施する。	達成できなかった。 内部研修は2回のみとなったが、全体で行っていた世話人会議を施設ごとに行うことで、より利用者の特性について深く話し合うことができた。
(3)	4軒目の開設に向け、4月～9月まで体験利用を行い、利用者のニーズを把握し、必要な支援のソフト面、ハード面の課題を抽出する。	概ね達成できた。 新型コロナウィルスの影響で、体験利用を控えていたが、9月以降に障害支援区分4の方の体験利用を行い、行動のルーティーン、視覚支援の必要性や、手すり、踏み台の設置など、様々な課題を抽出し整理することができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

あ つ と ほ ー む	G H	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度実績
		実在籍(契約)数 a	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	17	
		開所日数 b	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	366	
		延利用数 d	465	482	453	475	447	445	477	456	468	476	453	499	5,596	
		分析 一日平均 $d \div b$	15.5	15.5	15.1	15.3	14.4	14.8	15.4	15.2	15.1	15.4	16.2	16.1	15.3	

法人内の通所事業所の利用者3名が体験利用を実施した。その内1名は、9月より滞在時間を少しずつ延ばしながら、グループホームの生活に慣れてもらい、2月の入所に繋がった。

なお、1月に高田利用の女性1名が精神的な理由により退所し、全体で在籍は17名となった。

(2) 年齢・性別

性別＼年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	4	0	3	0	1	0	0	8
女	6	1	2	0	1	0	0	10
計	10	1	5	0	2	0	0	18

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	7	17

精神障害				合計
1級	2級	3級	小計	
0	0	1	1	18

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
3	8	2	4	0	0	1	18

(5) 日中活動の場

就労	法人外 事業所	法人内 事業所	計
9	2	7	18

(6) 生活支援の概要

生活支援員が中心となり、利用者の生活、仕事、健康面など、様々な相談を受け、グループホームで過ごしやすい環境を提供した。

高田は高校を卒業したばかりの若い利用者が多く、就労面での相談を就労先や茅ヶ崎養護学校、就労援助センターなどと連携して行い、ケース会議で支援の方向性の確認を行った。

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
令和2年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修	NPOかながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1	1	オンライン
令和2年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	NPOシーガル研修・研究機構	2	2	
計		3	3	

内部研修	主催	日数	延人数
コロナ対策について	あっとほーむ	1	7
障害特性について	あっとほーむ	1	7
計		2	14

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会くらしの安心部会	生活相談室とれいん	2	2
ケース会議	茅ヶ崎養護学校	1	2
ケース会議	茅ヶ崎養護学校	5	10
計		8	14
内部会議	日数	延人数	
世話人会議	10	49	

5 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	避難場所	想定
3月14日	2	2	0	4	小和田小学校	大地震（小和田）
3月26日	4	1	0	5	浜須賀中学校	大地震（松が丘）
3月28日	2	1	0	3	円蔵中学校	大地震（高田）

(2) 年間行事

実施日	行事内容			備考
12月25日 金	クリスマス会			

(3) 車両の運行状況

(サンバー)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	162	114	198	196	158	144	277	171	187	215	139	258	2,219	184.9
運行日数(日)	12	9	13	13	13	11	16	14	12	11	8	15	147	12.3
平均走行距離(km/日)	13.5	12.7	15.2	15.1	12.2	13.1	17.3	12.2	15.6	19.5	17.4	17.2		15.1

相談支援センターフミキ事業報告
(茅ヶ崎市相談支援、指定障害児相談支援、指定特定相談支援)

1 基本方針

障害のある児・者及び保護者等の意思を尊重し、基本的人権を享有する個人として、その尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。また、障害のある児・者の意思及び人格を尊重し、抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向け、関係各機関や福祉サービス提供事業所等と連携しながら支援を行っていく。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	サービス利用に係る事務的な作業の簡素化を図り、実質的な支援を充実していく。	概ね達成できた。 サービス利用に係る事務的な作業については、記載内容を簡素化したり、利用者や保護者自身で記載が可能な方については、記載方法を助言した上で自身での記載をお願いするなどしたことで、実質的な相談支援に当たられる時間が前年度より確保できた。
(2)	モニタリング加算について、様式への記入方法を見直し、対象となる支援を実施した場合は請求に上げていく。	達成できた。 様式と記入方法を見直し、対象となる支援を実施した際、新様式に記録を残したうえで請求に上げることができた。
(3)	管理者兼相談支援専門員が計画相談の加算対象となる研修を1つ以上受講する。	達成できなかった。 新型コロナウイルスの影響により、対象となる研修日程が中々定まらなかったこともあり、参加することができなかった。
(4)	職員それぞれが年に1回以上、相談支援のスキルアップにつながる研修に参加する。	概ね達成できた。 常勤専従職員については、スキルアップにつながる研修に参加することができた。

3 事業内容

(1) 相談件数内訳

表1参照

(2) 主な相談内容

- ・年度当初、コロナ禍で学校が休校となり、福祉サービスも利用が制限される中、家庭内での過ごしが難しくなり、児童や保護者の心理的、身体的負担が増えたことに関連した相談が複数あった。
- ・被虐待リスクがあり、なおかつ発達課題を感じられる児について、その保護者や市障害福祉課、家庭児童相談室から福祉サービスの利用等について相談を受けることがあった。
- ・家族支援も必要なケースについては、関係機関が集まってのケース会議や電話等による連携を数多く行った。
- ・保護者が海外にバックグラウンドを持つ児の相談で、保護者とのやり取りの際、日本語だけでは

難しいというケースが複数あった。

・学校への行き渋りや不登校の児童で、発達課題があることが疑われている児について保護者から相談を受けることがあった。それらの相談に対しては面談や家庭訪問、電話相談等を実施し、また教育機関とも連携して本人・家族の孤立を防ぐための支援を行った。ケースによっては外出や余暇の過ごしの時間を共にし、家族以外の人との接点を持つ機会を作った。

・児童発達支援、放課後等デイサービスともに新しい事業所が市内や隣接市町にでき、それら事業所の利用についての相談も多く入った。

・福祉サービスで補えないニーズに対し、保育所やファミリーサポートセンター等の対応も含めた相談支援を行った。

・家族による適切な養護が行われず、市外に入所となった成人のケースに対し、入所施設への訪問や成年後見人との繋がりを持ち、継続的な支援を実施した。

(3) 障害児支援利用計画及びサービス等利用計画の作成件数

	障害児(18歳未満)		障害者(18歳以上)		合計
	利用計画	継続利用計画	利用計画	継続利用計画	
2年度	16	30	3	12	61
元年度	36	105	5	11	157

(4) 認定調査の件数

2年度	45
元年度	53

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
発達障害児の進路選択・特長	株式会社 LITALICOライフ	1	1	オンライン
ひきこもりの理解と援助的な関わりの基本	障害者生活支援センター	1	2	オンライン
障害支援区分認定調査員研修	神奈川県	1	1	
発達障害専門相談員巡回相談	茅ヶ崎市	12	24	2回はメール
計		15	28	

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市自立支援協議会 代表者会議	茅ヶ崎市	2	2	書面会議
茅ヶ崎市自立支援協議会 運営会議	茅ヶ崎市	5	5	
茅ヶ崎市自立支援協議会 つながり支援部	相談支援センターフミキ	3	6	2回はメール
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	4	5	
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	4	4	書面会議
湘南東部障害保健福祉圏域 自立支援協議会	地域生活ナビゲーションセンター	2	2	書面会議
湘南東部障害保健福祉圏域 発達障害者地域支援会議	発達障害者地域支援マネージャー	2	2	1回書面 1回オンライン
相談支援専門員のスキルアップに関する ワーキング	地域生活ナビゲーションセンター	2	2	
茅ヶ崎市地域生活支援拠点整備連絡会	茅ヶ崎市	1	1	メール
茅ヶ崎市障害者差別解消支援地域協議会	茅ヶ崎市	1	1	書面会議
基幹相談支援センター連絡会	茅ヶ崎市	2	2	
児童関係機関との意見交換会	茅ヶ崎市	2	2	1回は書面
計		30	34	

5 その他

(1) 車両の運行状況

(エブリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	27	56	133	64	113	101	139	58	191	109	103	24	1,118	93.2
運行日数 (日)	2	7	10	7	8	9	11	5	11	5	6	8	89	7.4
平均走行 距離(km/日)	13.5	8.0	13.3	9.1	14.1	11.2	12.6	11.6	17.4	21.8	17.2	3.0		12.6

表1

相談件数内訳

(相談支援を利用している障害者等の人数)

区分	実人員 1	身体障害 2	重症心身障害 3	知的障害 4	精神障害 5	発達障害 6	高次脳機能障害 7	その他 8
障害者	444	0	0	198	33	188	1	24
障害児	1,825	10	114	235	0	1,391	0	75
計	2,269	10	114	433	33	1,579	1	99

(支援方法)

区分	訪問 1	来所相談 2	同行 3	電話相談 4	電子メール 5	個別支援会議 6	関係機関 7	その他 8	計 9
件数	78	74	29	1,301	185	11	432	159	2,269

(支援内容)

区分	福祉サービスの利用等に関する支援 1	障害や病状の理解に関する支援 2	健康・医療に関する支援 3	不安の解消・情緒安定に関する支援 4	保育・教育に関する支援 5	家族間に関する支援 6	家計・経済に関する支援 7	生活技術に関する支援 8	就労に関する支援 9
件数	1,316	71	77	93	70	138	15	11	8

区分	社会参加・余暇活動に関する支援 10	権利擁護に関する支援 11	その他 12	計 13
件数	1	4	465	2,269

利用実績

事業明細	相談件数 (総数)	相談回数の内訳	
		茅ヶ崎市	その他の市町村
(1) 市町村相談支援機能強化事業	353 件	353 件	0 件
(2) 障害者相談支援事業	1,674 件	1,657 件	13 件
相談内容			
(ア) 福祉サービスの利用援助(情報提供、相談等)	926		
(イ) 社会資源を活用するための支援	55		
(ウ) 社会生活力を高めるための支援	445		
(エ) ピアカウンセリング	0		
(オ) 権利の擁護のために必要な援助	4		
(カ) 専門機関の紹介	4		
(キ) 自立支援協議会の部会の運営	4		
(ク) 上記以外の相談	236		
合計	2,269	2,256 件	13 件

障害別内訳	新規 (実人数)	2回目以降 (延べ人数)	相談件数 (総数)		
			18歳未満	18歳以上	合計
精神障害	4 人	29 人	0 件	33 件	33 件
身体障害	1 人	9 人	10 件	0 件	10 件
知的障害	30 人	403 人	235 件	198 件	433 件
発達障害	161 人	1,418 人	1,391 件	188 件	1,579 件
高次脳機能障害	1 人	0 人	0 件	1 件	1 件
その他の障害	30 人	183 人	189 件	24 件	213 件
合計	227 人	2,042 人	1,825 件	444 件	2,269 件

ぐっじょぶ矢畠事業報告（就労継続 B 型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

生産活動を通して、働くことの楽しさや大切さ、それぞれが協力して製品を完成させる達成感を感じていただき、生活意欲の向上へ繋がるような支援を行います。

2 令和2年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	月額平均工賃を5,000円以上とする。	未達成。 一人月額平均工賃は3,264円で、前年度と比べ1,739円の減少となった。
(2)	前年度に作成した個別支援マニュアルを基に共通認識を持って支援する。利用者の状況に変化があった場合は、個別支援マニュアルをアップデートしていく。	達成できた。 個別に配慮すべき点を職員間で共有して支援した結果、利用者のストレスを軽減することができた。こだわりなどに変化があった場合は、その都度職員間で話し合い、支援マニュアルをアップデートした。
(3)	地域共生社会の実現に向け、事業所として何ができるかを考え、できることから順次実行していく。	概ね達成できた。 新型コロナウイルスの影響で地域への障害理解の促進はできなかったが、年間を通して鶴嶺小学校登校時の見守りを行った。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置による、みなし利用を含む。)

ぐ つ じ ょ ぶ 矢 畠	型 分 析	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度実績
		実在籍(契約)数 a	19	19	19	19	19	19	17	17	17	16	17	17	17	9	245	243
		開所日数 b	21	18	22	21	16	20	22	19	20	16	18	23	236	9	245	243
		延在籍数 a × b = C	399	342	418	399	304	380	374	323	340	256	306	391	4,232			3,968
		延利用数 d	331	292	367	348	232	303	288	252	265	210	250	320	3,458	102	3,560	3,258
		一日平均 d ÷ b	15.8	16.2	16.7	16.6	14.5	15.2	13.1	13.3	13.3	13.1	13.9	13.9	14.7			13.4
		出席率 d ÷ C	83.0%	85.4%	87.8%	87.2%	76.3%	79.7%	77.0%	78.0%	77.9%	82.0%	81.7%	81.8%	81.7%			82.1%

4月より茅ヶ崎養護学校から2名、2月より近隣グループホームから1名が利用を開始した。9月末に2名、12月末に1名が退所した。退所者のうち1名は赤羽根に移籍した。

(2) 年齢・性別

性別＼年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	10	2	1	2	3	0	0	18
女	0	0	2	0	0	0	0	2
計	10	2	3	2	3	0	0	20

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	1	1	0	1	1	5	0	5	6	1	12

精神障害				合計
1級	2級	3級	小計	
1	2	0	3	20

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	4	4	4	2	0	6	20

(5) 居住地域

市内	市外	計
20	0	20

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
13	5	2	20

(7) 生活支援の概要

利用者支援マニュアルを基に、一人ひとりに配慮すべき点を職員が共通認識を持って支援したことで、利用者間のトラブルの予防やストレス軽減に繋がった。必要に応じて事業者間でのケア会議を開催し、情報共有と包括的な支援を行った。

コロナ対策として、生活全般での手洗いや外出に関する助言、事業所内での黙食の支援を徹底した。1回目の緊急事態宣言時には事業所内の人の密度を下げるため、利用者を2グループに分けて1日おきの通所とした。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

なし

エ 就労支援の概要

就労希望のある利用者1名が就労移行事業を行っているふれあい活動ホーム赤羽根で実習をし、9月末で移籍をした。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度＼作業種別	軽作業
平成29年度	1,067,865
平成30年度	1,121,914
令和元年度	1,136,142
令和2年度	768,103
令和2年度(目標)	1,200,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
616,863	3,264

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	高野商店、ふれあい活動ホーム赤羽根、寒川紙業

エ 作業支援と工賃の概要

高野商店からの受注を基本とし、作業が途切れる事のないよう赤羽根からの受注で補ったが、新型コロナウイルスの影響で赤羽根からの受注が減り、前年度比 240,576 円減少した。その分一人ひとりがストレスなく作業に取り組めるよう作業工程を細分化し、時間を掛けながら丁寧な作業提供を行うことができた。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	主催	日数	延人数
個別支援マニュアル作成会議	ぐっじょぶ矢畠	2	10
個別支援計画検討会議	ぐっじょぶ矢畠	2	10
行動障害についての支援に役立つアイデア	ぐっじょぶ矢畠	1	5
リフレーミングとは…	ぐっじょぶ矢畠	1	5
施設内部研修	ぐっじょぶ矢畠	6	30
計		12	60

(2) 会議

会議	主催	日数	延人数
ケア会議	元町の家	1	4
ケア会議	ぐっじょぶ矢畠	2	6
ケア会議	ぐっじょぶ矢畠	2	6
計		5	16

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
9月				0	中止
3月				0	中止

* なお、希望制による個別面談を実施した。

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容		
	利用者	職員	その他	計	場所	想定	
9月30日	15	5	0	20	1階作業室	地震後火災発生(避難・消火訓練)	
3月31日	11	6	0	17	2階事務局	地震後火災・津波発生(避難・消火訓練)	

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、8月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率94.7%：配布19件/回収18件）し、支援計画の内容について平均80.6%、職員の対応について平均81.5%の満足度を得られました。

(3) 年間行事

実施日		行事内容						備考			
6月		事業団スポーツ大会						中止			
10月		利用者レクリエーション						中止			
12月25日	金	お楽しみ会						臨時的に実施			

(4) 車両の運行状況

(キャリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	71	60	135	79	116	158	203	138	159	133	39	127	1,418	118.2
運行日数 (日)	6	4	11	8	8	10	19	11	12	12	4	12	117	9.8
平均走行 距離(km/日)	11.8	15.0	12.3	9.9	14.5	15.8	10.7	12.5	13.3	11.1	9.8	10.6		12.1